

『島田地域自治協議会』設立趣意書

島田地域では、豊中市内初の小中一貫義務教育学校『庄内さくら学園』設立にむけ校区再編成が行われ、2023年(令和5年)3月に豊中市立島田小学校は閉校、これに伴い、旧校区の各団体も庄内さくら学園校区として再編成されました。

しかしながら、2中学・3小学校の広域校区では福祉や防災面など課題も多く、情報が入りづらく取り残された感があり、閉校後の旧島田小学校も荒廃がすすみ、コロナ禍で希薄になった地域コミュニティの危機が顕著となりました。

そこで、島田地域のコミュニティ活性化を図るため、旧島田公民分館が中心となり2023年12月より島田地域自治組織立ち上げに向けて準備や意見交換を行い、2024年5月に『島田地域自治組織検討会』を設立、地域住民へのアンケートや、活性化の起爆剤として『島田納涼まつり』を開催しました。

こうした取り組みの中、地域住民が主体となり自助・共助の力を高めることにより地域力を向上し、地域に愛着をもてるよう安心・安全な地域で次世代を育むため『島田地域自治協議会』を設立いたします。

2024年(令和6年)12月19日
島田地域自治協議会設立総会

協議会の役割

- ・地域コミュニティの活性化
⇒地域住民の交流や活動のサポート、情報共有等を通じて各団体の負担軽減や再構築により地域課題を解決していく
- ・防火、防災対策
⇒自助、共助の力を高めることにより災害時のシステム構築
- ・活動拠点としての活用
⇒高齢者や子育て世代だけでなく、イベント開催など住民交流や憩いの場として地域住民の拠点とする

以上